

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33101	日本の生活文化 Culture of Livelihood in Japan	高橋知子		専門	1	選択	1.2後期
<b>科目の概要</b>							
現代日本は情報化が進展し、物質的にも豊かな生活を享受できている。その一方で、古くから受け継がれた和服、和食、年中行事などの伝統的生活文化は、その伝承が薄らぎ、簡略化・変容しつつある。この授業では、日本の生活文化が生まれてきた過程を学習したうえで、現在の生活文化の動向にも注目する。また、世界から見た日本の文化にも触れ、伝統的生活文化の重みや今後のあるべき姿について考察する。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 日本の生活文化を平安時代から現代までたどり、その特徴を、現代との対比のなかで認識する ② 年中行事にも注目し、現代生活での変化を知り、伝統的生活文化についての理解を深める。 ③ 世界からみた日本の生活文化についても考え、今後の生活文化のあるべき姿を考察する。				① 現代に続く生活文化の歴史を理解し、その特徴を現代との対比の中で説明することができる。 ② 年中行事における現代生活での変化について知り、伝統的生活文化について説明することができる。 ③ 世界からみた日本の生活文化について考え、今後の生活文化のあるべき姿について自分の意見を述べることができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	講義内容で取り上げた課題について、自らの生活体験をもとに理解ができる。新聞などにより情報収集を積極的に行って知識を増やすことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	講義時間内は、集中力が切れないよう努め、緊張感をもって授業に臨むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	「知らない」から、「気づき」の方向へと自身の関心を向けることができる。そして気づいたことがらを、自身の考えるべき課題としてとらえることができる。					
	計画力						
	創造力	講義内容を自らの生活に関連づけて考え、また、日本人の生活全体に考えを広げることができる。					
チームで働く力	発信力	受講中、自分の考えをまとめて発言、または記述できる。					
	傾聴力	講義に集中して受講でき、内容を正確に理解できる。発言者の意見を素直に聞くことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：授業の内容にそったプリントを配布する。 参考文献：授業にそって紹介する。							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：「食生活ユニット」の諸科目、「国際交流フィールド」							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
配布プリントに、講義時における補足を記入しておくことが望ましい。また、理解できない時は参考文献や辞書、パソコン検索などで確認しておく。				様々なメディアを通して、今、社会で何が起きているかを知り、自分なりにその原因や背景を考えてほしい。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学 期 末 試 験	62	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末試験はレポートで行う。</li> <li>・授業の内容を充分・理解し、要点を把握しているかを評価する。</li> <li>・課題を発見し、適切に自身の主体的な考えを表明しているかを評価する。</li> </ul>	
			②	✓		
			③	✓		
	平 常 評 価	小 テ ス ト	28	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回（14回分）、復習と予習のための小テストを配布し、次週に回収して、内容を理解できているか、授業の準備ができているかを確認する。</li> <li>・すべてに記入ができていて、正確に答えているかを評価する。</li> </ul>
				②	✓	
				③	✓	
		レ ポ ー ト	0	①		
				②		
③						
成 果 発 表 （ プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 作 品 制 作 等 ）		0	①			
			②			
	③					
学 修 行 動	社 会 人 基 礎 力 （ 学 修 態 度 ）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>（主体性）受講中の問いかけに、自己の生活経験を率直に発言できる。</li> <li>（実行力）受講中、私語などなく緊張感を維持して受講できる。</li> <li>（課題発見力）問題点を発見し、質疑での発言に結びつけることができる。</li> <li>（創造力）自らの生活を見直し、将来に向けての見解を述べることができる。</li> <li>（発信力）明確な言葉で他の受講生に理解が及ぶよう発言できる。</li> <li>（傾聴力）大事なことはメモしながらしっかりと聞くことができる。</li> <li>（規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。</li> </ul>	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>レポートおよび小テストで、授業要点を8割以上理解し、説明できる。</p> <p>さらに、自己の見解を論理的に記述することができる場合はA（優）とする。自己の見解に提言を含み、論理的に記述できる場合はS（秀）とする。</p>	<p>レポートおよび小テストで、授業要点を6割以上理解し、説明できる。自己の見解を付加することができる場合をB（良）とし、感想にとどまる場合はC（可）とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「生活文化」とは日本の生活文化のはじまり 縄文、弥生時代の生活について、食べ物と住まいを中心に考えてみる。	講義 小テスト	「生活文化」のカバーする範囲の広さについて説明できる。	配布プリントにより「生活文化とは何か」について復習する。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
2	平安時代の生活文化 国風文化の生まれた平安時代と、貴族の生活について知る。貴族の衣服や食べ物を現代の暮らしと比較して考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	十二単について説明できる。	「平安時代」について予習する。 配布プリントにより、平安時代の食事と衣服について復習する。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
3	鎌倉・室町時代の生活文化 鎌倉時代から室町時代の武士の生活を知る。本膳料理と一汁三菜の和食の基本形が成立するまでを知る。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	一汁三菜について説明できる。	「鎌倉・室町時代」について予習する。 配布プリントにより、本膳料理と一汁三菜について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	江戸時代の生活文化① 江戸の住まい、循環型社会 町人の住まいの特徴を知る。ものを大切に使った循環型の暮らしについて考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	江戸庶民の循環型の暮らしの一部を説明することができる。	「江戸時代」について予習する。 配布プリントにより、現代の生活と比べながら復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	江戸時代の生活文化② 食生活と社会 江戸時代に日本料理が完成し、さらに発展していったことを知る。庶民のさまざまな食べ物について知る。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	江戸時代の食べ物について説明できる。	室町時代までの食事について予習する。 配布プリントにより、日本料理について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	江戸時代の生活文化③ 小袖と染織文化 きものルーツである「小袖」について知る。形の変化や染織デザインについて、調べてみる。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	小袖の形の変化について説明できる。	現代の「きもの」について予習する。 配布プリントにより、江戸時代の小袖について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	明治・大正時代の生活文化① 西洋料理の受容 西洋文化の導入による明治以降の食生活の変容を学ぶ。「とんかつ」が生まれるまでの過程をたどる。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	「とんかつ」の生まれるまでについて説明できる。	「明治時代と大正時代」について予習する。 配布プリントにより、食文化について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	明治大正時代の生活文化② 和装から洋装へ 男性と女性で大きく差があった明治以降の洋装化の過程を学ぶ。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	モダンガールについて説明できる。	「鹿鳴館」について予習する。 配布プリントにより、洋装化の過程を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	昭和40年代までの農村の暮らし 「日本の民家」について解説したビデオを視聴し、昔の農村の暮らしについて知る。現代の生活との違いをグループで話し合う。	講義とグループディスカッション 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	農村の暮らしの一部を説明できる。	「日本の民家」について予習する。 配布プリントにより、農村の暮らしについて復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	高度経済成長期の生活文化 高度経済成長によって大きく変化した生活文化について知る。現代に与えた影響についても考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	高度経済成長の影響の一部を説明できる。	「高度経済成長」について予習する。 配布プリントにより、戦後の変化について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	農村の年中行事 お正月やお盆など、農村で季節の節目に行われてきた行事について知り、その意味について考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	年中行事の一部を説明できる。	「年中行事」について予習する。 配布プリントにより、年中行事の事例を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	現代の年中行事 恵方巻やハロウィンなど、商業主義や外国文化の模倣により変化する生活文化について考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	現代の生活文化の変化の一部を説明できる。	「生活の変化」について予習する。 配布プリントにより、現代に受け継がれた事例を復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	西欧のクリスマス、日本のクリスマス 宗教が生活に根差している西欧のクリスマスを紹介し、日本との比較をする。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	他国の生活文化にも興味を持つことができる。	「西欧の生活文化」について予習する。 配布プリントにより、日本との比較をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	海外に影響を与えた生活文化 欧米でのジャポニズムの流行について知り、世界からの日本文化への視点について考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	「ジャポニズム」について説明できる。	「ジャポニズム」について予習する。 配布プリントにより、世界から見た日本について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	生活文化のこれから (まとめ) 時代により変容する生活文化を、私たちは今後どのように継承していくべきかについて考える。	講義 グループディスカッションにより、生活文化のこれからについて考え、その内容を発表する。	次代を担う人として、伝統文化について自己の見解を述べることができる。	講義録全体を再読し、討議内容を踏まえ、自己の考えをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力